

やってみよう! ワークシート



新聞には毎日、たくさんの記事や写真、広告がのっています。世界的な大ニュースから身近な地域の話までさまざまです。神戸新聞社は、その中から知ってもらいたいことや深く考えてほしい記事を取り上げ、ワークシートを作って自宅学習などに活用してもらっています。今回は絶滅することが心配されている鳥、ニホンイヌワシのひなが、兵庫県で育っているというお話です。

イヌワシのひなすくすく 但馬・扇ノ山



国の天然記念物で絶滅の恐れのあるニホンイヌワシのひなが、兵庫県但馬地方の扇ノ山周辺で誕生、成育しているのが7日、確認された。この巣でのひな確認は23年ぶり、県内では2年ぶり。日本イヌワシ研究会と兵庫県などの調査チームが、断崖絶壁の岩場にある巣の中で白い羽に包まれた体長40センチほどのひな1羽がいるのを発見した。

来月上旬にも巣立ち

巣の中には親鳥が進み、食べたと見られるウサギの骨。岩壁に作られた巣の中で育つニホンイヌワシのひな=7日午後、扇ノ山周辺



岩壁に作られた巣の中で育つニホンイヌワシのひな=7日午後、扇ノ山周辺



仲むつまじく大空に舞うニホンイヌワシのつがい=2月11日、扇ノ山周辺

や、まだ生きていけるシマヘビが見えた。母鳥が餌を持って巣に帰ってくると、元気に鳴き声を上げていた。扇ノ山のつがいは県内2ペアのうちの1つ。昨年から求愛行動が見られ、年明けには交尾も観察されていた。ふ化したのは3月20日とみられる。猛禽類に詳しく、調査に行した「神戸どうぶつ王国」(神戸市中央区)の佐藤哲也(園長65)は「抜け毛もなく目に力がある。親鳥が帰った時

8日の朝刊にのった記事

(山崎 竜)

①ニホンイヌワシは、どんな生き物ですか

②ひなが確認された場所はどこで、巣があるのはどんな環境ですか

③だれが確認しましたか

④ひなはどんな様子ですか

⑤どうしてイヌワシのひながニュース

として報じられたと思いますか (自由記述)

答えは29日の「週刊まなびー」にのるよ。



もっとワークシートをやってみたいと思った人は、電子版「神戸新聞NEXT」の「神戸新聞NIE」コーナーでワークシートを検索してみてください。たくさんあるので興味のある新聞記事を選んでね。今回のワークシートの答えは、メール(kobe-nie@kobe-np.co.jp)か、はがき(〒650-8571 神戸新聞社「週刊まなびー」ワークシート係)で、名前と学年、または年齢を添えて5月28日必着で送ってね。正解者の中から、抽選で毎月10人に神戸新聞の記念品をプレゼントします。

15日週刊まなびー

ワークシートの
解答例

- ①二酸化炭素(CO₂)が地球温暖化の原因となるから
- ②半年かけて海草のアマモを種から育て、20~30センチほどの苗を兵庫運河に植えた
- ③海中にアマモの群生が広がった▽アマモが増えると光合成の働きで多くのCO₂が吸収される
- ④ブルーカーボン
- ⑤グリーンカーボン
- ⑥自由記述